

研究構想シート		学校名	川本町立川本中学校
		氏名	多々納広人
A 研究主題	主体的に学び、将来をたくましく切り拓こうとする生徒の育成 ～「キャリアプランニング能力」の育成を視点にした指導の充実～		
B 研究の目的	自分のよさを知るとともに、生涯をとおしてより良く生きていこうとする生徒の育成に向けて、キャリア教育の視点（「キャリアプランニング能力」に係る指導の充実）に立った学習指導や活動支援の在り方を探る。		
C 子どもの実態 人間関係形成・社会形成能力に係る質問項目については、評価が高い。 自己理解・自己管理能力に係る質問項目については、「忍耐力・ストレスマネジメント」の項目が若干低い。「前向きに考える力、主体的に考える力」の項目がかなり低い。 課題対応能力に係る質問項目については、おおむね高い。 キャリアプランニング能力に係る質問項目については、かなり低い傾向にある。特に「先を見通して計画的に取り組む」力が弱い。	E 手立て・内容（研究仮説） 「生涯をとおしてよりよく生きていこうとする態度を備えている子ども <キャリアプランニング能力>」と学年の重点項目を研究の重点とし、これらの態度を備えた子どもの育成をめざし研究を推進する。 研究推進に当たっては、特別な授業や活動を仕組むのではなく、各教科における学習活動や生徒の活動をキャリア教育の視点で見直す。その際、「キャリアプランニング能力」と学年の重点項目を高めることを意識する。 授業をとおして「先を読む力」の育成をめざすが、1単位時間の中で、あるいは1単元の中でどのような力を付けたいのかを明確にして工夫改善を図る。学習展開、学習形態は各教科の特性を踏まえ、この力に向かう展開を工夫する。また、授業のゴール（ねらい）を意識し、自分の学びがどうであったかを確認するための振り返りについても工夫改善を図る。	D めざす子どもの姿 学んだことを人や社会のために生かそうとする態度を備えている子ども 自分のよさを知り、伸ばそうとする態度を備えている子ども 課題や困難を解決していこうとする態度を備えている子ども 生涯をとおしてよりよく生きていこうとする態度を備えている子ども	
	F 検証方法 【生徒】 県学テ意識調査やアンケート調査によって変容を把握する。 【教員】 学びあい授業研究2・3回目に講師の方から指導助言を受ける。指導助言後、個人テーマの検証を行う。		
	G 研究計画 【生徒】 県学力テスト12月 自校アンケート2月 【教員】 学び合い研究授業・研修職員会 第1回目 6月11日（火） 助言を受けた上で、個人テーマの設定 第2回目 10月 8日（火） 1回目に設定した、個人テーマの検証 第3回目 1月24日（金） 1回目に設定した、個人テーマの検証 研究のまとめを行う		